



とっとりまいぶん調査研究ニュース

国宝高松塚古墳に次ぐ飛鳥時代の「女子群像」
(青谷横木遺跡)

古代山陰道発見プロジェクト始動！！

注目を集める古代山陰道

鳥取県では近年、青谷横木遺跡や国史跡青谷上寺地遺跡などで古代山陰道と考えられる大規模な道路跡が見つか
り、鳥取の古代社会を解明するうえで重要な成果が数多く
得られています。

官道と条里がセツト 青谷上寺地遺跡と青谷横木遺跡で
は、国内で初めて官道(※)と土地区画である条里地割がセッ
トで確認されています。

国内初の街路樹 また、青谷横木遺跡の古代山陰道では柳
の街路樹が発見されました(図1)。これも国内初で、都に
柳や槐などが街路樹として植えられていたことが文献や和
歌から知られていますが、それを
裏付ける重要な成果です。



写真1 史跡青谷上寺地遺跡で見つかった古代山陰道

最先端の土木技術 盛土内に
枝や葉を敷く『敷葉・敷粗朶工
法』が確認されています。これは
当時、朝鮮半島から伝わった最
先端の土木技術でした。

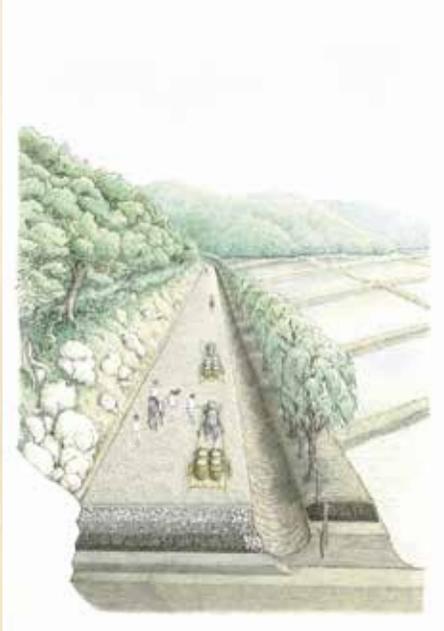


図1 青谷横木遺跡の古代山陰道復元イラスト
(街路樹として柳が植えられている。)

丘陵上での踏査を開始

これらの調査成果を踏まえ、鳥取県埋蔵文化財センターでは現在、『古
代山陰道の研究』を研究テーマとして掲げ、調査研究に取り組んでいます。
5月から行っている青谷平野の西側丘陵における踏査では、丘陵上で、幅9
mほどの大規模な切通しを確認しました(写真2)。こうした切通しは、同
じく古代山陰道は発見された出雲市杉沢遺跡でも確認することができ
写真2)、古代道路の痕跡を示している可能性があります。さらに西側に
進みむと、そこは伯耆国との国境であり、国境には防御のための重要な施
節が置かれた可能性もあります。

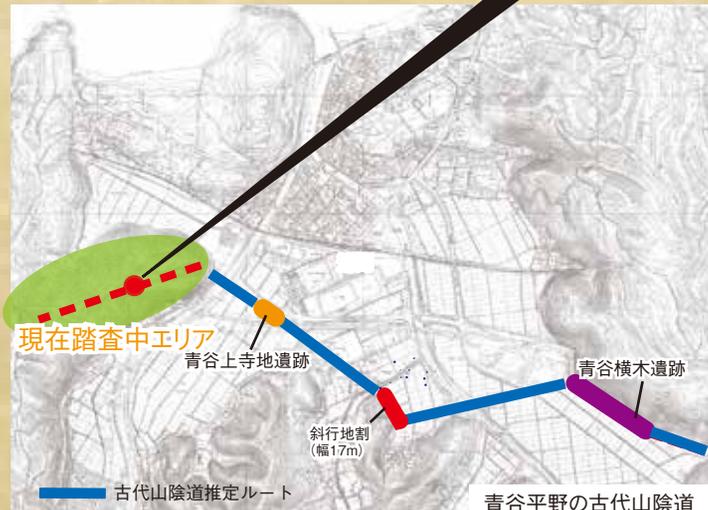
険しい山々が行く手をはばみますが、「千
里の道も一歩から」。古代山陰道を求める
旅は始まったばかり。今後の調査成果に
ぜひご期待ください！



写真3 出雲市杉沢遺跡(国史跡)の古代山陰道切通し



写真2 青谷西側丘陵で見つかった大規模な切通し



鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun>

フェイスブック www.facebook.com/tottorimaibun

フェイスブックの「いいね」登録で、旬の情報をお届けしています。

